

小郡市立大原小学校 学校だより(第5号)
令和8年5月8日 児童数 395名
重点目標 「自ら気づき、考え、ともに表現する子どもの育成」
校長 福永 隆二

5月1日の学習参観、PTA総会にご参加ありがとうございました

木々の緑が目にも鮮やかな季節となりました。新年度がスタートし、早くも1か月が過ぎ、子どもたちは新たな学年での生活を軌道に乗せ、目標に向かってさまざまな取り組みを進めています。

1日(金)、学習参観においでいただきありがとうございました。お子さんの学習の様子はいかがでしたか。子どもたちは、お家の方が来てうれしい反面、少し緊張気味の様子がうかがえました。

その後、校長の学校づくり説明会、そしてPTA総会にもご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。PTA総会では、今年度の活動計画や予算、新役員が承認されました。これまで、PTA活動にご尽力いただいた旧役員、各委員の皆様、ありがとうございました。新役員、各委員の皆様には、1年間PTA活動のご理解とご協力をよろしく願います。

本年度の学校経営の方針について

学校づくり説明会でお伝えした、学校経営の方針についてご説明します。

本校の教育は、『自走と共生ができる子ども』を育てることをめざしています。「自走」とは、自ら考え、判断し、行動することです。「共生」とは、自分も他者も認め、ともによりよく生きることです。

話は少し飛躍するかもしれませんが、子どもが「わかった、がんばった」を実感できれば、自分に自信をもち、「そうなることが望ましい未来」に向かい、「かけがえのない現在をよりよく生きようとする」ようになるのではないかと考えています。

そして、本校では、そのことを学校経営の柱としていますし、そこに教育の原点があるように思うのです。その実現のために、本年度は、「自ら気づき、考え、ともに表現する子ども」を重点目標に設定し、次のような教育活動の工夫を行ってまいります。

本年度の重点目標「自ら気づき、考え、ともに表現する子どもの育成」

重点目標達成のための教育活動の工夫「やってみよう(挑戦)とありがとう(感謝)」

【学習づくり】	【生活づくり】	【体力・安全づくり】
<p>①主体的に学ぶ授業改善を図ります</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもが選択、決定する活動・教え合い、たずね合いの活動・探求型の学習への取組 <p>②ICT教育を推進します</p> <ul style="list-style-type: none">・タブレットの効果的な活用・情報モラル教育の実施 <p>③読書活動を充実します</p> <ul style="list-style-type: none">・朝の読書活動の習慣化 <p>④BBクラブとの連携を図ります</p>	<p>①「原っ子モデル」を徹底します</p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつ、言葉づかい・はきものそろえ・もくもく掃除 <p>②積極的な生徒指導を実践します</p> <ul style="list-style-type: none">・学級活動を通じた自治的能力・いじめの早期発見・早期対応・アンケートの実施 <p>③特別支援教育を充実します</p> <ul style="list-style-type: none">・教職員の研修の実施 <p>④非認知能力を育成します</p>	<p>①体育学習を充実します</p> <ul style="list-style-type: none">・目標設定(縄跳び、持久走)・運動量の確保・外遊びの奨励 <p>②健康教育を推進します</p> <ul style="list-style-type: none">・感染症対策の徹底・基本的生活習慣の定着 <p>③食育・給食教育を推進します</p> <ul style="list-style-type: none">・食に関する指導 <p>④安全・防災教育を見直します</p> <ul style="list-style-type: none">・安全点検と引き渡し訓練

【大切なわたし、大切なあなた、大切なみんな】～人権尊重の視点に立った学級・学校づくり～
教職員自身の言動を常に振り返り、人権意識を高める研修を実施します
人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりを推進します

全国学力・学習状況調査について

4月23日(木)に、6年生が、国語・算数に挑戦しました。どの教科も、日常生活場面と結びつけた問題が出され、根拠を説明できる力が問われていました。【算数の問題の一部を載せています】

また、5月1日(金)には、児童質問紙をオンラインで回答しました。

この学力調査については、調査結果が大きく取り上げられますが、大切なことは、子ども一人ひとりが、自らのよかったところを認め、不足していたところをとらえるような指導や支援を積み重ねていくことです。

そして、学校が指導の在り方を見直し、子どもたちが「わかった。できた。」を実感できる授業づくりに努めていくことです。

全国学力調査 算数の問題【一部抜粋】

(4) 赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図はどれですか。

下の「ア」から「カ」までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

小算-10

(2) さくらさんたちは、昔遊びを担当することになり、下のように【昔遊びの計画】を立てました。

【昔遊びの計画】

遊び方について

- 前半と後半に、あやとり、または、かるたで遊ぶ。
- 前半と後半が、同じ遊びでもちがう遊びでもよい。

時間の使い方について

全体で使える時間				
準備	前半	休けい	後半	片付け

- 全体で使える時間は60分間。
- 準備は最初の5分間。
- 前半と後半の間の休けいは10分間。
- 片付けは最後の5分間。
- 前半と後半の時間は同じ。

【昔遊びの計画】を見ると、「前半」の時間は、何分間ですか。

答えを書きましょう。

小算-19

算数の問題も、問題文を読み解く力が必要です。よく読むと、そこまで難しい問題ではありません。

左側の「テープの長さ」の問題は、「1.5倍」の意味を理解することが大切です。白いテープをもとにして、赤のテープの何倍にあたるかを考えます。ヒントは、点線で区切っている数(目盛り)を考えることです。ア～ウは、白いテープは目盛り2つ分です。赤のテープが2倍であれば4つ分となりますが、この問題では、1.5倍を求めると、赤のテープが目盛り3つ分の図になりますので、答えは「ア」となります。もう一つのエ～カは、白いテープが目盛り4つ分ですので、その1.5倍である6つ分の赤いテープは「オ」となります。

右側の「昔遊びの計画」の問題は、問題をよく読めばすぐにわかります。全体が60分、準備と片づけを合わせて10分、休けいが10分ですので、前半と後半の遊びの時間は、残り40分となります。

前半と後半は同じ時間なので、20分間ずつとなります。

このように、子ども一人ひとりに、読む力と考える力を身に付け、さらに、学習する楽しさを味わえるように、学校と家庭で協力して取り組んでいきたいと思ひます。